

1. 2022年度海外留学(実績)

| 対象学科 | 派遣先大学等 | 派遣期間 | 派遣人数 | 単位認定 | 研 修 目 的 等 |
|-------|----------------|------------------------|------|------|---|
| 英米語学科 | アルバータ大学(カナダ) | 2022年4月～12月 (8ヶ月) | 1 | 有 | 派遣先であるカナダに滞在しながら多様性を尊重する多文化共生社会を理解するとともに、グローバル社会で活躍するために必要な実践的英語力を向上させる。 |
| 中国語学科 | 東呉大学(台湾) | 2022年8月～翌年1月 (6ヶ月) | 3 | 有 | グローバル社会で活躍しうる有為な人材の育成を目標とし、国際未来社会で求められる中国語の実践的な能力を向上させるとともに、中国の社会や文化への理解を深める。 |
| HT学科 | ハワイ大学(アメリカ) | 2022年1月～12月 (12ヶ月) | 1 | 有 | 異文化社会に身を置くことで国際感覚を養うとともに、世界に通じるホスピタリティ・マインドを身につける。 |
| | ハワイ大学(アメリカ) | 2022年8月～翌年5月 (10ヶ月) | 1 | 有 | |
| | サンウェイ大学(マレーシア) | 2022年8月～翌年7月 (12ヶ月) | 1 | 有 | |
| | テイラーズ大学(マレーシア) | 2022年8月～翌年7月 (12ヶ月) | 1 | 有 | |

2. 2022年度海外研修(実績)

(注)○は奨学派遣

| 対象学科等 | 派遣先大学等 | 派遣期間 | 派遣人数 | *単位認定 | 研修目的等 |
|----------|--------------------|----------------------------|------|-------|--|
| 日本語学科 | ○ウーロンゴン大学(オーストラリア) | 2023年2月18日～3月5日 (16日間) | 3 | — | オーストラリアで行われている日本語教育の現状を理解するとともに、授業実践を通して日本語に関する専門知識、日本語教育に関する知識と能力を身につける。 |
| 英米語学科 | ○ハワイ大学(アメリカ) | 2022年8月28日～9月18日 (22日間) | 11 | 有 | 国際未来社会で活躍できる英語コミュニケーション能力を向上させるとともに、派遣先国の社会、文化をより深く理解し、多様化する社会で自ら積極的に行動できる異文化対応能力を身につける。 |
| | ○ウーロンゴン大学(オーストラリア) | 2023年2月18日～3月5日 (16日間) | 4 | — | 国際未来社会で活躍できる英語コミュニケーション能力を向上させるとともに、TESOLの専門家から英語指導に関する理論と実践を学ぶ。 |
| 中国語学科 | ○東呉大学(台湾) | 2023年2月14日～2月20日 (7日間) | 5 | — | 台湾の標準語としての「国語」と明海大学で学んだ「普通語」との発音や語彙における差異を調査。同時に東呉大学での学生交流などを通じ、現地の社会・文化・習慣への理解を深める。 |
| 外国語(GSM) | アジア研修(シンガポール) | 2023年2月19日～2月25日 (7日間) | 12 | 有 | 現地企業の視察を通して、異文化を理解し、日本企業または外資系企業がどのようにアジアでビジネスを展開しているか、またその課題について学ぶ。 |
| 外国語(教職) | ウーロンゴン大学(オーストラリア) | 2023年2月18日～3月5日 (16日間) | 5 | — | 国際未来社会で活躍できる英語コミュニケーション能力を向上させるとともに、教育の分野で活躍できる能力を身につける。 |
| 経済学科 | ○ハワイ大学(アメリカ) | 2023年2月5日～2月26日 (22日間) | 15 | 有 | 国際未来社会で活躍できる英語コミュニケーション能力を向上させるとともに、派遣先国の社会、文化をより深く理解し、多様化する社会で自ら積極的に行動できる異文化対応能力を身につける。 |
| | アジア研修(シンガポール) | 2023年2月19日～2月25日 (7日間) | 7 | — | 現地企業の視察を通して、異文化を理解し、日本企業または外資系企業がどのようにアジアでビジネスを展開しているか、またその課題について学ぶ。 |
| 不動産学科 | ○ハワイ大学(アメリカ) | 2023年2月26日～3月5日 (8日間) | 7 | — | ハワイの不動産開発現場を視察するとともに、協定大学で現地不動産関連の講義を受け、グローバルな感覚や不動産学の知見を深化させる。 |
| | ハワイ大学(アメリカ) | | 4 | — | |
| HT学科 | ○ハワイ大学(アメリカ) | 2022年8月23日～9月7日 (16日間) | 20 | 有 | 世界有数の観光地であるハワイの観光産業施設等を見学し、ハワイの魅力や歴史・文化がどのように観光に影響しているか理解を深めるとともに、観光関連の講義を受け、英語の運用能力を実践する。 |
| 口腔保健学科 | ○ハワイ大学(アメリカ) | 2022年8月23日～8月31日 (9日間) | 2 | — | 歯科衛生士養成教育に関連した講義を受講するとともに、キャンパス内施設や開業歯科クリニックの見学を行い、米国の歯科衛生士の役割や業務を理解し、口腔保健に基づく歯科衛生活動について論理的に考える視野を備える。 |

*単位認定に当たっては、研修出発前後の事前・事後授業等、現地での研修及び授業外学習の時間数を満たし、その成果が認められた場合に単位を認定します。

長期留学成果報告書

留学先国及び留学先大学： アルバータ大学（カナダ）

留学期間： 2022年4月 ～ 2022年12月

1 留学先で学習した内容について、詳しく書くこと（400字以上）

留学期間は8か月で春学期・夏学期・秋学期に分かれる。前半の4か月は春学期・夏学期で語学研修プログラムに参加した。後半の4か月は秋学期で学部授業を履修した。語学研修はEAPコースと呼ばれ、主に135、140、145の3つのクラスに分類される。135は初心者向けであり、145は最上位クラスである。春学期で私は135に加入し英語の基礎を学んだ。内容は高校で習うことを英語で学ぶようなものであったが、日本の高校とは違ってリスニング、スピーキング能力を要する授業であったので、少々チャレンジングなものであった。夏学期に順調に140に進み、また少し難しい内容を学んだ。例えば、「引用」の方法などである。大学ではレポートなどで論文やウェブサイトを引用する場合は、しっかりと決められたフォーマットで書かなければならない。アルバータ大学が作成した引用フォーマットを我々が学び、今後の大学生活に欠かすことのできない最低限のルールを習得した。学部授業では言語学101を専攻した。言語学は簡単に言えば言語の仕組みを解き明かす学問である。言語学といっても、その中にたくさんの分野があるので、それを広く浅く包括的に学ぶ内容だった

2 留学先での生活（滞在形態、海外での生活や現地の人との交流を通じて印象に残ったこと等）について、詳しく書くこと（400字以上）

カナダに住む人々は基本的に親切だと感じた。差別もほとんどなく、横断歩道では必ず車は停止し、歩行者を優先する。日本でも歩行者優先であるため、ある程度の車は止まってくれるが、これ以上の対応であるため説得力はあるだろう。また、彼らは”Excuse me”だけでなく”Sorry”も多用する。日本人はよく「すみません」を多用しすぎて外国人に不思議がられるという話を耳にするが、カナダに住んでいる人々も道を開けてほしいときなどはよく”Sorry”を多用していた。また、バスから降りる際は大多数の人が”Thank you!”と発言することから、相手を思いやる精神が隠されているのだと感じた。基本的に外食は値段が高く、日本でラーメンを食べたとしても高くても800円くらいだが、カナダでは量も少ないわりに1600円くらいする。また、自炊のためにスーパーなどで食材を買う際も少し高く感じてしまうが、野菜などは比較的安かった。しかし、日本に売られている野菜とはまた違い、大きさが桁違いであったため驚いた。

3 留学を振り返って

(1) 留学を通じて成長したこと、感じたこと、得たことを留学前の意識と比べて書くこと (400 字以上)

留学で成長したことといえば英語力やコミュニケーション能力、行動力が挙げられるが、最終的に感じたことは、どこでも生きていける能力が培われたことである。現地で新型コロナウイルス感染症に罹患しても、ヘルスセンターに出向いて薬を処方してもらい、療養したことや、自炊して生活していたことなどからも、日本を飛び出し海外で生活することができるかと確信した。また、「心配しないこと」も挙げることができる。私はカナダ到着日当日にスーツケースが届かないというトラブルに見舞われ、初めての海外ということもあり焦ったが、後日、無事に荷物がホテルへ届いた。また、バンクーバーへ旅行に行った際、ホテル予約の日を間違えたり、帰国日に寒波の影響でフライトが 5 日間遅れたりしても、自分でなんとか対処することができた。英語力も最初はダメだと感じるが多かったが、最終的にはネイティブスピーカーと流暢に会話することができるようになっていた。このようなことから「最終的にどうにかなる」という精神をこの留学で得た。

(2) (1) を今後の学生生活や将来にどう活かしていきたいか、詳しく書くこと (400 字以上)

前述のとおり私は学部授業で言語学を履修したが、ゼミでも言語学や社会言語学の研究を進めていくつもりである。カナダでは世界中から人々が集まってくるので、その人たちと話して気づいたことを、言語学や **World Englishes** の観点から、カナダ英語 (カナダニズム) と諸外国の英語や日本人が使い、習う英語を比較検討した研究を進めていきたいと思っている。カナダで言語学の楽しさを知ることができたので、その楽しさを糧に今後の研究に勤しんでいきたい。また、私が経験した留学生活や英語学習のことなどを後輩たちへ伝えていきたい。英語力はどんな業界でも役立つものであると思うので、将来はそれを活かして社会に貢献し、日本と諸外国を結ぶ懸け橋になりたいと考えている。今後、英語を使う機会が増えるか減るかは分からないが、留学中に培ったグローバル思考は一生の財産となるものであると確信している。

4 今後留学する人へのアドバイスや心構え、メッセージ等について、詳しく書くこと (400 字以上)

留学当初は周り (特に日本人) と比べることで英語力の自信を喪失したり、社交性の無さに絶望したりすることがあるかもしれません。もちろん、周りと自分を比較することは、より努力をすることの発端となったり、自分を変えようとするきっかけとなる場合もありますが、最終的にはメンタルが削れていく一方だと考える。そのため、留学を成功させるコツは「周りと比べないこと」であると確信している。私自身も現地の学生が参加する旅行ツアーに参加し、同年代の日本人が流暢な英語で学生と話している姿を見て、かなり圧倒され、自分の英語力の無さを痛感した。しかし、やることをやっていたら英語力は必ず伸びるはずだと思っていた私は、クラブやサークル活動に打ち込み、たくさんの人と英語で会話することを心掛けた結果、いつの間にか実力が付き、流暢に英語を話すことができるようになっていた。無理に自分を高めようとせず、コツコツと努力を積み重ねていくことが留学を成功させるコツだと感じている。

長期留学成果報告書

留学先国及び留学先大学： 東呉大学（台湾）

留学期間： 2022年8月 ～ 2023年1月

1 留学先で学習した内容について、詳しく書くこと（400字以上）

クラスは、秋学期・渡航前に行ったレベルチェックテストによって15クラスに分けられ、冬学期は前学期の学習状況や成績をもとにクラスが変わる学生もいて、その時の自分にあったクラスで学習することができた。

私のクラスでは、台湾の歴史や台湾で問題視されている差別問題や環境汚染等の社会現象について学習をした。また、日常生活で使用する言い回しや語彙をはじめ、口語と文語で異なる文法、社会的な話題で使用する専門用語など全てを中国語で学んだ。

社会現象に関する学習については、アメリカ、カナダ、タイ、韓国、日本から来た留学生で構成されたクラスであったため、議題である社会問題について台湾での見方を学んだ後、自国ではどこが問題視されるか、どのような考え方をするかを発表し、各国特有の考え方に共鳴したり、反論したり、今まで気づけなかった観点からの解決方法などを学ぶことができ、中国語のスキルだけでなく教養を増やすこともできた。

教科書を使った授業以外にも、台湾企業での就職活動を想定した履歴書作成や面接練習が行われたり、語学センターの学習・居住環境をより良くするために意見を出し合い、まとめた意見書を学校に提出するという授業も行った。

その他に校外学習が行われ、春節の際には先生に台湾の観光名所である迪化街の大売り市に連れて行ってもらい、春節の賑やかさを体感することができた。

2 留学先での生活（滞在形態、海外での生活や現地の人との交流を通じて印象に残ったこと等）について、詳しく書くこと（400字以上）

留学先の東呉大学華語中心は、教室と宿舎が一体型になっていて、自習中に疑問に思ったこともすぐに先生の所へ行き教えてもらうことができ、学習に最適な環境であった。

部屋は2人部屋と4人部屋があり、私は4人部屋を選択した。ルームメイトは日本語が堪能な韓国からの留学生1人と日本からの留学生2人であった。部屋では日本語を話してしまうことが多かったが、中国語縛りゲームをしたり、各自のクラスでその日に学んで、印象に残った単語を付箋に書いて入口のドアに貼るということをして、日々楽しみながら中国語環境に慣れていった。

台湾人学生との交流は、週に1回、第2言語で日本語を学習している学生の授業に参加し、日本語を教えるというタンデムという機会があった。授業時間の他にも時間外交流の時間が設けられ、1対1でお互いの言語を教えてあったり、趣味の話をし、仲を深め、ご飯や観光名所に行ったり、年越しのカウントダウンに誘ってもらったりと沢山の思い出を作ることができた。

台湾人とふれあい感じたことは、台湾の人はイメージどおり優しいということだ。

台湾の学生は毎日、今日授業で分からないことあった？と確認してくれ、質問をすると丁寧に説明してくれた。タクシーの運転手さんはこちらが留学生だと分かると中国語を教えてくれ、スーパーでは主婦の方がこっちの方がお得だよと教えてくれる。気軽に話しかけて来てくれて、当たり前のように気遣ってくれる、気遣いが当たり前になっている台湾の空気感は独特で、日本人の優しさとは少し違った優しさがあると感じた。

3 留学を振り返って

(1) 留学を通じて成長したこと、感じたこと、得たことを留学前の意識と比べて書くこと (400 字以上)

台湾に留学する前は HSK の資格も持っているし、繁体字も少し勉強したことがあるし、ある程度はどうにかなるだろうと思っていたが、台湾に到着した際、今までに体験したことのないスピード感で飛び交う中国語、また、見たことのない繁体字にとっても混乱した。パニック状態で簡単な会話さえ答えることができず、頷くことしかできなかった時に自分の中国語力の現実を突きつけられた。

到着から約 1 週間後、リスニング、スピーキング共にまだ自信がないまま秋学期が始まり、初めて授業を受けた時、私以外のクラスメイトは皆中国語が堪能で、意見交換などを問題なく行っている姿を見て、私もこうなりたいと最初の 1 か月は踏ん張った。しかし、次第にモチベーションであったはずのクラス環境が辛くなってきてしまい、クラスを変えようと思った。その時、同じクラスの日本人のみならず他国の留学生までもが一緒に頑張ろうと声をかけてくれ、1 対 1 で会話練習を行ってくれた。また、担当の先生も、人と比べなくて良い、自分のペースで着いてきなさい、と言ってくれ、様々な方の支えもあり、クラスに留まることになった。

毎日予習復習は必須で、最初の 3 か月は深夜まで自習室にいることも多くあった。元々楽観的な性格で、気分が落ち込むことはなかなかなかったが、この時は今まで中国語を勉強してきた中で 1 番辛い時間を過ごし、勉強がストレスになっていた。そこで、自分で自分を苦しめてはダメだと気づき、中国語を勉強することから少し離れ、自然に流れてくる中国語だけを意識して生活をした。すると、実感できるくらい聞き取れる量が増え、語彙力も増えていった。気持ちに余裕を持つことがいかに大切かを学ぶことができ、メンタルをコントロールすることができるようになった。

(2) (1) を今後の学生生活や将来にどう活かしていきたいか、詳しく書くこと (400 字以上)

私は今回、自分より上のレベルに挑戦し、プレッシャーがある状況下にいた方が成長できることに気づいたので、検定試験も上の級を受けることに躊躇せず、何回も挑戦していくことにする。また、ただ机に向かって学習するだけでなく、この単語は留学中どのような場面で使っていたかなどを思い出しながら、プレッシャーをかけつつも楽しんで学習していきたい。

また、今回培うことのできたメンタルコントロール力は学習だけでなく、就職活動にも役立てていきたい。就職活動では、自分が思い描いた様に物事が進まないかもしれないが、そうした時には一度立ち止まって振り返り、しっかり休息をとると、他の情報や他の道に目を向ける余裕を持つことができるのではないかと思うため、常に自分をコントロールしながら就職活動に励みたい。

さらに、周りに同じように悩んでいる人がいたら、留学中の体験を伝え、留学中に自分のことを助けてくれたクラスメイトのように力になれる存在になりたい。

4 今後留学する人へのアドバイスや心構え、メッセージ等について、詳しく書くこと (400 字以上)

私は半年間の留学だったのですが、本当にあっという間の半年間でした。半年間だと時間がないから、たくさん勉強しなければ、と思いがちですが、逆に外に出てたくさんの人と触れ合うことで現地の人のリアルな中国語を体感でき、ずっと机で勉強した時よりも数倍たくさんのことを吸収できた気がします。遊びすぎは良くないかもしれませんが、4:6 くらいの割合で外で学ぶのが良いのではないかなと感じました。外に出たとき、店員さんやタクシーの運転手さんはたくさん話しかけてくれます。最初は戸惑って距離を取りたくなくなってしまいますが、たどたどしい中国語でも汲み取って話をしてくれ、話しているうちに自信もついてくるため、とりあえず言っていることが分からなくても、言いたいことが正しい文法や単語で出てこなくても、コミュニケーションを取りたいという姿勢を前面に出していくと、現地の方はサポートしてくれます。コミュニケーションを取ることが 1 番の成長材料になると感じたので、どんどん積極的に交流をしていってください！

長期留学成果報告書

留学先国及び留学先大学： ハワイ大学（アメリカ）

留学期間： 2022年1月 ～ 2022年12月

1 留学先で学習した内容について、詳しく書くこと（400字以上）

I have learned and experienced so much all throughout my exchange program. The program helped me grow and expand my knowledge not just academically but also about other culture and life. I consider Hawaii a melting pot of cultures. Throughout my stay, I was able to meet so much people from different countries and different cultures and I love how everyone I met is very open to diversity.

I took a total of 8 courses, 4 courses per semester. My first semester was challenging because I was pretty much adjusting and it was my first time alone in a foreign country. I took Principles of Marketing, Food and World Cultures, Human Resource Management, and Tourism Transportation. Tourism Transportation was one of the top most interesting classes I took. I learned so much about transportation management and we had the chance to do a site inspection and visit the airport to go around up to the control tower and even where the luggages pass through before getting inside the aircrafts. It was such a great experience, I have learned so much. On my second semester, I took Personal Finance Management, Management of Service Enterprises, Events Management and Marketing, and Restaurant Entrepreneurship. For the second semester, I truly enjoyed almost every course. The professors were tough graders but I gained so much lessons and experiences from them. Personal Finance taught me basics about investments and proper money handling. Events Management and Marketing was a big experience because we were able to organize our own department-wide event with 200 pax. We were able to network with professionals as well. The Restaurant Entrepreneurship was by Chef Roy Yamaguchi, world famous chef. It was an honor to be part of the class and have speakers from the different departments. We were even be invited to his restaurant to have a site inspection, to see how he manages the restaurant and see how things work within. We were also able to taste his classic recipes which tasted amazing.

The whole study abroad program experience was challenging, but at the same time a fun learning experience. I am grateful for the chance to be able to actually do the program abroad and finish it despite the Corona Virus.

2 留学先での生活（滞在形態、海外での生活や現地の人との交流を通じて印象に残ったこと等）について、詳しく書くこと（400字以上）

Living in a foreign country alone is such an experience. It was my first time to be alone abroad. Looking for my accommodation without physically being there was the first challenge I went through. I did my research looking for available accommodations using Google and social media. I was able to look for my first accommodation, Hale Mahana, through apartments.com. It was accessible to school where I can walk about 15 minutes to the campus center, or ride a bus that would take around 5 minutes. I lived with 3 other American girls, but with separate rooms. I had to share a bathroom with another girl which was quite a challenge because we had different definitions of cleanliness. I had a culture shock with how they have friends over all the time and leave our unit dirty, I did not like that part especially since it was the peak of omicron. Fortunately, I never got the virus. Also, with how messy and dirty they can leave the bathroom, it was really hard to keep up at first but I got used to it eventually. I had to learn how to speak out so they can be aware of what I was feeling since we all live in the same place. It was a challenge to learn how to speak out, but I did it. The local people are very nice. Most of my classmates were locals, Americans, and Japanese. I was able to be friends mostly with Japanese and locals. It was challenging to make friends from scratch but I am grateful everyone was friendly. Getting to know different types of people made my perspective of life widen and grow.

I had to move to another accommodation since my contract ended, I looked through Lei Hawaii Realty and saw a studio unit near Waikiki. The building security was really good and safe so I decided to sign the lease. Island Colony is a 20-minute bus ride to school. The only con would be that the bus time schedules are not accurate in Hawaii. In addition, the prices of everything in Hawaii can be very expensive to what we are used to. Inflation, plus the exchange rates were really bad during my stay so it was really awful.

3 留学を振り返って

(1) 留学を通じて成長したこと、感じたこと、得たことを留学前の意識と比べて書くこと (400 字以上)

Before studying abroad, I was really quiet and did not know how to speak out my thoughts. Living abroad, especially the United States, you will not go anywhere without having to speak your thoughts. You have to share your thoughts in order to survive unless you can live with always having to adjust to what others are fine with but not fine with you. I have grown to learn more about being able to live independently, having to do groceries on your own, no family around, meeting new people, meeting new networks, basically doing everything on your own. I also learned how to network with people and professionals through the classes and events I was able to go to. Networking is really useful and important in the industry we are in since we will be needing connections and seniors who will be willing to help us. Before studying abroad I can say I was really dependent on my family who are always there to support and help me, but this time it changed and I grew to be independent. The opportunities I received throughout the program were endless and I am very grateful I was able to experience them all.

(2) (1) を今後の学生生活や将来にどう活かしていきたいか、詳しく書くこと (400 字以上)

With all the things I have learned, I am sure I will be using all of them in the future. Being independent and learning how to share my thoughts and opinions without feeling guilty or shy is the biggest lesson I learned, but also learning to control depending on which nationality or culture you talk to, I still have to consider and be careful with how you have a conversation. It was really challenging since the culture was different but I got used to it eventually. Also, learning how to professionally network with the professionals will surely be taken with me until my future career. With the experiences I gained, I will have conversation starters and topics on what to talk about with the professionals.

4 今後留学する人へのアドバイスや心構え、メッセージ等について、詳しく書くこと (400 字以上)

Dear students who will start their journey studying abroad, you can do this. Make sure you prepare all documents and requirements on time to avoid any mishaps. Double check everything before leaving so you would not forget anything. Mentally prepare yourself to the possible changes as well. Do not be afraid to try new things, experience something new, meet new friends, meet professionals, and of course do your best with the courses. Comparing to Meikai, depending on the professor, they can be really strict and tough with grading, so I recommend you pass all your requirements on time and always ask questions if you do not understand something, do not be shy. Quizzes and tests can be challenging but as long as you do your readings, you'll be fine. Do not forget to have fun! Gambatte!

長期留学成果報告書

留学先国及び留学先大学： ハワイ大学（アメリカ）

留学期間： 2022年8月 ～ 2023年5月

1 留学先で学習した内容について、詳しく書くこと（400字以上）

This exchange program was such a once in a life time experience. Going to Hawaii and doing this exchange program made me learn a lot of things from academic knowledge, life experiences, and forming relationships. The things I learned here were mostly from experiences, from mistakes I have made or to helping others along the way. Everyone in Hawaii emphasized how small the island is and how everyone would know each other in one way or another, the professors would always tell us students that networking and making connections are the most important thing in building yourself. The professors were all very kind and wanted to teach everyone from experience. The classes I took there were interesting and I learned a lot from them. We would always work in groups which is a great way to build relationships and train us to work with people we are not familiar with. I was also able to learn from people I was grouped with since some of them were older and more experienced. I really looked up to those people who knew what they were doing and I would listen to them and learn from what they were doing. I was able to meet and learn about different people from different places. Some of them were from Japan as well who were exchange students, some were international students, and some were from Hawaii. I also met people from other asian countries like Korea and Vietnam. It was really interesting to learn about how they grew up and where they come from considering they come from different places. The people I would meet would tell me about their culture and what they usually do around the island, and then I would tell the about myself too. Being able to share things from my culture that they didn't know about would make me feel happy that I could share something new to them. The locals that I met were really kind and they would bring me around the island and show me the best beaches and places to see. This program also taught me how to be independent. Being able to do things at my own pace and just enjoying my time with the people and environment around me. I learned how to appreciate the beauty of the nature around me through hiking the mountains, swimming at the beaches, and going around the different areas of the city.

2 留学先での生活（滞在形態、海外での生活や現地の人との交流を通じて印象に残ったこと等）について、詳しく書くこと（400字以上）

My life in Hawaii was completely different from my usual. I lived in an apartment where my sister and I stayed in for five months. It was a really nice location in the city. It was a few minutes away from the beach and Waikiki was right below too. The view was really nice, you could see the mountains and a part of the sea, with the city inbetween. My university wasn't that far away but there it was not walkable. Luckily they gave us a bus pass which would make all bus rides free for us students. It was extremely convenient for me. The beaches that were nearby would always be crowded with tourists and just full of trash, but there were a lot of beaches further away that we would sometimes go to, however since my friends and I would take the bus it would take longer. It was still fun and every place I went to made me stunned, as all the views were very beautiful. My daily life would mainly consist of going to classes in the morning until 3 pm at the latest. After that I would go back home to rest or go to the mall. On the weekends I would study and do homework if I had any and go out if I had free time. Sometimes I would also go to club activities if there was something interesting such as site inspections, or game nights. The locals there are always really kind to everyone, naturally some wouldn't be as welcoming but there were still a lot who were. They would welcome tourists with welcome arms as long as respect goes both ways. Its always nice talking to locals since they know their way around and are always willing to recommend somewhere to go. They would always throw a shaka to people which is a gesture they do to say thank you or anything that would mean appreciation. The last five months, I lived alone which made me nervous at first but then it ended up really fun. I went on more hikes and went out to meet more friends. It was such a nice experience living alone and just figuring out how to get by. It was scary at first and a little bit sad at times but time went by so fast and now I want to go back. It made me more independent and more responsible.

3 留学を振り返って

(1) 留学を通じて成長したこと、感じたこと、得たことを留学前の意識と比べて書くこと (400 字以上)

This study abroad experience is definitely out of my comfort zone. I have always wanted to experience something abroad but I am a shy person. Being shy has always been my weakness, it gets a bit difficult to make connections with others. Especially going into Hawaii a lot of the people are well conversed and would talk to everyone very naturally. Which was very welcoming and I appreciated it a lot. The people there made it easier to adjust but I grew my communication skills by talking to them as well. I have gained a little more confidence in being able to speak to people around me. I have also grown independently. Living far away from family was tough but having their support meant a lot. I grew to depend on only myself and be responsible for everything that I had to do. I kept track of my academics, finances, and just day to day needs. Studying abroad has made me grow into a different person, someone who is more challenging, adventurous, and independent. I have grown to just enjoy what life gives. For example when my friends would ask me if I wanted to do an activity I would go for it since it might be a once in a life time opportunity. I was also lucky to find friends who wanted to explore Hawaii together. We would go to hikes almost every other week or we would go to a beach we have never been to before. I also joined a club called TIMSA where I met some people, it took a lot for me to go to the activities because I was shy and I didn't know anybody. I'm glad I went because that's where I met some of my friends but I only went to a couple of activities they had planned. Another was when we planned an event for a class. I really felt myself grow during that experience because I learned a lot from the people around me who had experiences from organizing past events. It was really interesting how their creative minds worked. They would mention things that I would have never thought of in creating an event but now I know more about these things. Aside from that it was a networking event so I had to talk to a bunch of professionals which was nerve wrecking. But I was able to do it and I really enjoyed the process.

(2) (1) を今後の学生生活や将来にどう活かしていきたいか、詳しく書くこと (400 字以上)

My experience studying abroad will for sure create a big impact on my future. Being able to experience studying in Hawaii has given me a wider mindset viewing things. I now have a more global perspective on things in the hospitality industry. I learned how important it is to network and make connections with people everywhere. I also know how important communication skills are in the industry, I can also differentiate the hospitality practices in Japan and United States which means I can try to mix both things I learned to serve the best possible service. Learning through different perspectives broadens both my future opportunities and knowledge. I aim to use this advantage through sharing it with people along my career path. Being able to teach them knowledge I know and them teaching me what they know, it could both be an advantage to both sides. While in my studies in Hawaii I was able to hear stories from different people in different areas of the industry. Their stories were inspiring and very interesting. They would share their experiences in a way that you would really want to try and experience them as well. I would want to be like them some day, to share my stories as well. For my future student life I would want to keep up with gaining more knowledge and experiences that I know I could share some time in the future. I would like to get internships and part time jobs as a way to get experience in the hospitality industry. The knowledge I gained from stories told by professionals in Hawaii will always be on my mind and I will be applying what I learned from them in my future job. My dream is to be a flight attendant, and I think I will be able to use my global perspective a lot in the air. Especially since I will be meeting and talking to people from all over the world. Other than applying what I learned from my studies, I will be able to learn even more from the people I will be meeting from the communication skills I have learned from my studies in Hawaii. For now I will focus on applying what I have learned in doing my best in my studies and by starting to get into internships as a headstart for my future path. Focusing on what the current next step is will also help shape the future I will be facing as time passes.

4 今後留学する人へのアドバイスや心構え、メッセージ等について、詳しく書くこと (400 字以上)

I went into studying abroad excited for the experience. I did not think about the fact that going into a new environment means restarting. It only sunk in when I started my studies in Hawaii. I had to create new friendships, and learn the culture of Hawaii. It was definitely still exciting however I thought it was going to be all fun and no sad times. Especially being the shy person I am, it took some time for me to get the confidence to talk to people around and make friends. So my advice for students who will be studying abroad is to put yourself out there and be open to joining activities and being immersed with people. Join clubs and try to go to every activity/meeting. Its definitely a great way to meet people and create longlasting friendships. Try to even join more than one club if you can. If there are school events it's fun to join in and experience the way they do things there. Try to stay updated on campus events and festivals around the area. The campus at the University of Hawaii at Manoa had a a lot of events for students that were fun and nice. They also had cram jam which would happen during finals where in they would encourage students to study and give them essentials that could help with your studying which I thought was really nice for the students. I would also advice future students to just enjoy their time and explore the new place you are in. Wherever the student exchange program may be. Research about the area and try to do as much as possible during your free time in order to make the most out of it. But also to not forget about their studies, I believe its possible to both have the best time and still do good with your studies. By doing this you'll have no regrets in the future once you get back to Japan. Best case is you'll learn the culture of the country you have your program in and you could bring your family or friends next time while knowing how to bring them aorund. Its definitely fun learning about a new country and being able to share what you learned to others. My main advice would just be to enjoy the time you have and create meaningful connections with the people around.

以 上

長期留学成果報告書

留学先国及び留学先大学： サンウェイ大学（マレーシア）

留学期間： 2022年8月 ～ 2023年7月

1 留学先で学習した内容について、詳しく書くこと（400字以上）

The subjects I took during my one year study at Sunway University are as follows.

・ Communication Skills

I mainly learned about misunderstandings and failures that can occur in everyday conversations, how to avoid them, and important points for giving persuasive speeches and presentations. In addition, I worked on writing resumes in English and mock job interview as assessments.

・ Hotel Accommodation Management

In this subject, I was able to learn concretely and practically about hotel operations and management, such as how to shift personnel and determine room rates.

・ Quality Management

I learned how to maintain and manage quality in the hospitality industry such as hotels and restaurants.

・ Food & beverage Management

I learned the knowledge necessary to run a restaurant through various theories and case studies.

・ Bahasa Malayu Komunikasi 2

I learned basic Malay language

・ Appreciation of Ethics and Civilisation

I learned about the origins, history, characteristics, and culture of Malaysia.

・ Branding and Promotions

I learned how to create a brand and how to manage it, along with case studies of existing brands such as hotels and airlines.

・ Food Supply Chain Management

I learned about each factor and mechanism of the food supply chain, and how to manage quality and stability.

2 留学先での生活（滞在形態、海外での生活や現地の人との交流を通じて印象に残ったこと等）について、詳しく書くこと（400字以上）

In Malaysia, I lived in a dormitory called Waterfront Residence. It is one of the dormitories run by Sunway and is close to Monash University, so many students lived there, but there was little interaction between students. There are malls operated by Sunway, shuttle bus, Grab taxi and delivery etc., so it wasn't too inconvenient for living there. Some taxi drivers and shopkeepers asked me "Where are you from?". When they realized I was Japanese, they spoke the Japanese they knew and treated me very kindly.

The difference in hygiene level compared to Japan was impressive. There were insects and small lizards in the living space, and items belonging to previous residents were sometimes left in the common areas, even then, few people seemed to contact management. I don't have as strict standards as Germanophiles, but I noticed a difference not only in the dormitory, but also around town and at school. Although they have not entered the dormitory grounds, I have seen stray dogs on the road in front of the dormitory and in the adjacent Monash University parking lot. In addition, I felt that there were few roads with proper sidewalks, perhaps because of the mainstream movement by car or because of the canopies.

I was also surprised that there were so many shopping malls in Malaysia. There were some places that lacked stores, perhaps because there were so many, but each one was different and it was fun to visit.

3 留学を振り返って

(1) 留学を通じて成長したこと、感じたこと、得たことを留学前の意識と比べて書くこと (400 字以上)

At Sunway University, I was able to experience how to write academic reports, such as APA style, which I was not familiar with at Meikai University, and to give presentations in formal attire. It was very difficult at first, but after doing it a few times I got used to it. I also had group assignments for each subject, which provided an opportunity for conversation. In addition to the style of the assignments, I felt that the classes were more difficult and practical than courses with similar names at Meikai University, and that they were aimed at people who wanted to do it as a future career. These experiences have further deepened my understanding of the industry.

Also, in terms of daily life, I had never lived alone before, so even though I was living in a dormitory, I was able to experience living alone. Up until now, I had been doing laundry and cooking with my family, but I felt a little different when I was doing it alone. In addition to this, Grab Taxi was so revolutionary for me. It's easy to use with the app, and best of all, the price is determined in advance. It was reasonably priced and had a system in place that made it also easy for tourists to use. One taxi driver was also studying Japanese and Korean, and he told me that the government supports Grab drivers to learn languages. I felt that these were very different from Japanese taxis, and they made a big impression on me.

(2) (1) を今後の学生生活や将来にどう活かしていきたいか、詳しく書くこと (400 字以上)

I hope that I can use the academic report writing techniques I learned at Sunway University and the reports I have written so far when writing a dissertation. It would be great if I could use for charters, overall flow and reference list.

Also, if the time comes for me to live alone in the future, I would like to rely on that experience.

4 今後留学する人へのアドバイスや心構え、メッセージ等について、詳しく書くこと (400 字以上)

1年間だけの留学となると周りの学生との知識の差に驚くと思います。授業自体のレベルが高いだけでなく、サンウェイ大学の二年生や三年生が取るような科目を突然取ることになるため、周りのみんなは一年生の時にその授業の前提となる授業を既に受けているような感じでした。それらを知っている前提で当たり前のような状況で授業が進められるので大変なこともあると思いますが、先生方からサポートしていただきました。

また、留学をする際に考えて欲しいのが、その留学が本当に今の自分に必要なかどうかです。私はコロナ禍という時期に入学、IELTS のスコアを取るのが遅れた為、大学生になってサークル活動やバイト活動にもほぼ手をつけていません。留学から帰ってきたのが四年生の夏、同級生は内定をもらったり、就職活動真っ只中です。それらをこなしながらでももちろんできる人はできると思いますが、今本当に自分のしたいこと、大学生のうちにしておきたいことなど、総合的に家族とよく考えて決めて欲しいなと思います。やはり、日本でできてマレーシアでできないこともたくさんあります。

私の家庭環境や性格からネガティブに捉えることもあります。周りからの声もあり、結果的には良い経験になったなと感じています。大体のことは「なんとかなる」ので気軽に考えてください。また、自分の時間もたくさんあるので、限られた一年楽しく過ごしてください。

以上

長期留学成果報告書

留学先国及び留学先大学： ティラーズ大学（マレーシア）

留学期間： 2022年8月 ～ 2023年7月

1 留学先で学習した内容について、詳しく書くこと（400字以上）

ティラーズ大学では、イベントマネジメントについて勉強をしました。イベントを実際に行うことを想定しグループワークの課題に取り組み、主にイベント計画に必要な要素のターゲット層やイベントの内容・費用面・スポンサーパッケージをどうするのか等といったイベント運営のことについて授業内で学びました。また、授業内で実際に企業と一緒に B to B のイベントを計画・運営を行いました。PR やマーケティングなどといった部門に学生それぞれが分かれて行き、私は Deligate（事務局のような感じ）に参加をしました。私は、ミーティングで出てきたことを議事録にまとめ、情報の共有をしていました。企業に提案をしたりポスターのビジュアルを考えたりなどイベントの準備段階から学ぶことができ、とても面白かったです。

さらに、サービスマネジメントについても学び、お客様が求めるクオリティのサービスをするためにはどういったスキルが必要なのかや何かトラブルが起こったときにはどのように対処すればいいのかといったことを学びました。

2 留学先での生活（滞在形態、海外での生活や現地の人との交流を通じて印象に残ったこと等）について、詳しく書くこと（400字以上）

私を含め6人でダイニングエリアやトイレ・シャワールームを共有するような形態の寮で生活をしていました。エリアメイトは、日本人もいればマレーシアやイギリスなど様々な国の人と共同生活をしていたので、いろんな国の人と話す機会が多くあって楽しく過ごせました。後期の間は特にエリアメイトとの交流が多くあり、文化や考え、それぞれが勉強していることを話したりなどをしてお互いをより知ることができたと思います。共同生活をしたことがなかったので、どこまで配慮しながら生活をしなければいけないのかを手探りでやってみました。最初はすごく難しいと感じていましたが、慣れてくると割と楽しく周りの人と助け合いながらできたので勉強になりました。

同じ交換留学生として来ていた日本人と仲良くなり、その人の友達と一緒にご飯に行ったりキリスト教の人の集まりに行ったりしました。そこではシンガポールやマレーシア、中国からの留学生や社会人と交流をしました。クリスマスパーティーに参加し、日本で自分から経験してみようと意識しないと入れないようなことができ、新鮮でした。特に、海外の人と接して感じたことは、自分の国ことや自身の意見をしっかりと持っている人が多くいるということです。話をしているときに質問を投げかけられたり、どう思うといわれたときに全然答えられなかったことがとても悔しいと思いました。

3 留学を振り返って

(1) 留学を通じて成長したこと、感じたこと、得たことを留学前の意識と比べて書くこと (400 字以上)

留学を通して成長を感じたことは、様々な国の人が話す英語を聞き取ることができるようになったことです。テイラーズ大学にはアジア圏の生徒だけではなくヨーロッパや中東等いろんな国の人が通っています。その為、クラスでは様々な英語のアクセントが飛び交っていました。この中で 1 年間過ごしたおかげでどんな人が話す英語でも聞き取れるようになったと感じます。

また、文化の違いというところでは、イスラム教の文化についても知ることができたと思います。マレーシアはイスラム教を信仰している人が多くいるため、レストランやスーパーではハラールのマークを出しているお店や商品が多くありました。日本ではなかなか見かけない光景で最初は大変な部分がありましたが、文化を理解することによって共生ができるようになることを知れました。日本でも宗教的なところで発展していけるようになったらもっと多くの人が住みやすい国になるのかなと感じました。

忍耐力もついたと思います。ビザの発給に時間がかかってしまいなかなか受け取ることができなかったですが、日本の感覚で過ぎさないようにしたらパスポートの件だけではなく、いろんなことを気長に待つことができるようになりました。

(2) (1) を今後の学生生活や将来にどう活かしていきたいか、詳しく書くこと (400 字以上)

この留学生活を通して、忍耐力が付き、より多くの人の文化や考え方を理解しようという気持ちが強くなりました。その為、今後は広い視野を持って生活ができるように、また、自分自身の意見をしっかりと伝えるように常に考えられるようにトレーニングをしていきたいと考えています。日本とは違いいろんなことの進みが遅かったり、うまく進まないことが多くありました。イベントを実際に行う授業に参加をした際にこの状況に合うことがあり、その時に日本とは違うということ意識したことによって待つということができるようになりました。仕事をすることになるといろんなことで怒られることや失敗することが多くなると思うので、何事も一度我慢してやることによって自身の成長に繋がると思います。さらに、マレーシアは多国籍国家で多くの文化と共存していることから様々なことを知る機会になりました。この経験を通して、自分自身だけではなく周りの人のことをしっかりと理解することでより多くのことを学べると感じました。GMM にいるため今後の生活ではいろんな人と関わられるように意識していきたいです。

4 今後留学する人へのアドバイスや心構え、メッセージ等について、詳しく書くこと (400 字以上)

私は、意識的に飛び込まなければ経験できないことをこの留学中にたくさん経験できました。日本人も多く留学生としていたので、日本人のコミュニティに入りながらもマレーシアだけではなくヨーロッパから来ている学生とも交流することで英語の向上だけではなく、いろんなことを知る機会になると思うので、興味を常に持つように意識すると留学生活が充実すると思います。最初は戸惑うことが多くあると思うので、周りの人に頼りながらも自分で挑戦することもすると行動範囲が広がり、日本に帰ってきてからも積極的に行動ができるようになると思います。

寮に入るとエリアによっては 5 人の学生と共同生活をするので、自分の生活リズムを崩さないようにしながらもエリアメイトと助け合いながら生活すると友達ができるようになると思います。ご飯とかは寮の下にたくさんレストランがあるので困らないと思いますが、日本食が食べなくなったらドンキ・ホーテに行くことをおすすめします。

新しいことを発見するいい機会になると思うので、視野が広がる経験をたくさんして勉強をして日本に帰ってきたときに楽しかったと思えるような生活を送ってください。

海外研修成果報告書

| |
|---|
| 研修先国および研修機関等： ハワイ大学（アメリカ） |
| 研修期間： 2022年08月28日（日）～ 2022年09月18日（日） |
| 1 派遣先で学習した内容（授業内容や視察内容）について、詳しく書くこと（400字以上） <p>研修先のハワイ大学マノア校では、3週間の NICE Program という語学研修プログラムに参加しました。授業はすべて午後から始まり、私を含め12人の日本人大学生がいるクラスで授業を受けました。</p> <p>授業内容は大きく分けて2つあります。1つ目は教室内で行う English Class です。この科目では最初にハワイ及びアメリカの歴史や文化などを学びました。さらに、歴史的事実が社会や人々に及ぼした影響や、日本との文化の違いを英語を使用してグループディスカッションを行いました。その他にも、この科目ではグループディスカッションを中心に、消費社会やハワイにおける環境問題を取り上げ学習しました。またクラスの担任が言語学の先生であったため、発音（音声）や語の成り立ちなどについても重点的に学ぶことができました。2つ目は Interchange Class です。この科目では現地の学部生と交流し、決められたテーマで意見を共有したり、フリートークを楽しみました。ナチュラルスピードの英語を聞き、より日常会話に近い雰囲気であったため、この科目が自分の英語力の向上に最も効果的でした。また、毎週月曜日は Off-campus というキャンパス外でのアクティビティがあり、水族館などを訪れました。授業は当然すべて英語で行われるため、自然と英語が出る環境が非常に良かったです。</p> |
| 2 派遣先での生活（滞在形態、海外での生活や現地の人との交流を通じて印象に残ったこと等）について、詳しく書くこと（400字以上） <p>本研修では、キャンパス内にある寮の1人部屋に滞在しました。寮のロケーションは図書館や授業を受ける教室、その他利用する施設へのアクセスもよく、比較的安全でした。飲食物の買い物は友人数名と近くのスーパーまで行くことが多かったです。</p> <p>私がマノア地区で生活していて最も興味深かったのは天気（気候）です。マノアの気候は、湿度が低く天気がコロコロ変わることが特徴です。基本的には晴れていますが、通り雨（お天気雨）のようなものが1日に数回降ることも多く、またその雨も日本と全く違うもので、とても面白かったです。このように頻繁に雨が降ったり止んだりするため、3週間の間に虹をたくさん見ることができました。数回に1回見られる二重の虹はとても神秘的で、印象に残っています。</p> <p>生活の中で、現地住民の方と交流する機会も多くありました。出会った方々の中には日系の方が数名いましたが、母語として英語を話されていることに、良い意味で不思議な気持ちになりました。またハワイは人々の多様性だけでなく動物や植物も多様で、毎日新しい発見のある3週間となりました。</p> |

3 研修を振り返って

(1) 海外研修を通じて成長したこと、感じたこと、得たことを研修前の意識と比べて書くこと (400 字以上)

本研修を振り返り、私が最も成長したと感じたことは英語のスピーキング力です。私は、本研修に参加する前はグループワークなどで自分の意見を言うことに対し苦手意識を持っていました。しかしこのプログラムの授業を通して、ディスカッションを行う回数を重ね、ハイレベルなクラスメイト達に刺激を受け、英語で自分の意見を述べることへの向上心を培うことができました。さらに、自身の英語力を上げるために英語圏で生活することの大切さを身に沁みて感じました。十数年日本で英語を学習してきた実感した成長のスピードと比べ、3週間のハワイ大学での研修は短期間で成長を実感することができました。自分にまだ伸びる部分があったということを知ることができてとても嬉しいです。同時に、クラスメイトであった他大学の学生のみんなや、現地で知り合った学生のみんなとの出会いの大切さを感じました。私は今まで出会った人や仲良くなった人との短期間での「別れ」を経験することがあまりなかったため、寂しい感情で一杯になりました。出会いがあれば別れがあるという当たり前のことも、経験を通じて実感しました。

また、寮生活を経験し生活の不便さを実感しました。特に大変さを感じたのは、日ごろの洗濯や買い物をすべて自分1人でこなすことや飲料水の確保です。さらに部屋内の温度を調節できるものはシーリングファンのみで、極端な暑さと寒さに体調管理への配慮がより必要となりました。

(2) (1) を今後の学生生活や将来にどう活かしていきたいか、詳しく書くこと (400 字以上)

本研修への参加は、自分の今までの英語の学修の仕方を見直すことのできるよい機会となりました。そして3週間という短い期間で急激な成長を実感できたことや授業を通して受けた刺激は、今まで以上に強く長期留学を望むきっかけになりました。近い将来の目標として長期留学を設定し、さらにステップアップできるように学修を続けていきたいです。またこの経験を活かし、今後は苦手意識のある英語の分野にも主体的に取り組み、全体的なスキルアップを目指します。学生としての人生では、自身の英語力を数字ではかることのできる試験や資格取得にも力を入れていきたいです。具体的には TOEIC でスコア 900 と英検 1 級の取得を目指し、学修を継続していきます。

本研修を通して、第一に英語の楽しさを再認識し、自信につながりました。この経験は将来の視野を大きく広げ、新たな目標や価値観が生まれました。またハワイでの多くの人との出会いを大切に、SNS を活用して連絡を取り続けていきたいです。

以上

海外研修成果報告書

研修先国および研修機関等： ハワイ大学（アメリカ）

研修期間： 2022年8月28日（日）～ 2022年9月18日（日）

1 派遣先で学習した内容（授業内容や視察内容）について、詳しく書くこと（400字以上）

ハワイ大学では、様々な授業から多くの学びを得ることができました。私は **intermediate** のクラスに在籍し、ハワイの文化やフラの歴史、ハワイ大学に関すること、感情の表現方法や発音、環境問題等を英語を通して学びました。毎日の授業には必ず **discussion** の時間があり、英語を多く使うことができました。特に印象に残っていることが2つあります。1つ目は、毎週月曜日に開催される **Off-campus activity** です。私たちのクラスでは、アラモアナショッピングセンターとホノルルズーに行きました。学生同士だけで行動する時ももちろん英語を使用しなければならないため、英語で沢山会話することができ、クラスでの親睦を深められる良い機会だったと思います。2つ目は、**interchange** です。**interchange** ではハワイ大学の学生と少人数で話すことができます。現地の学生が使う生の英語に触れることができ、とても刺激になりました。ハワイ大学の学生は知識が豊富で、話していて学ぶことが沢山ありました。特に、環境問題について様々なことを知ることができ、良かったと思います。

2 派遣先での生活（滞在形態、海外での生活や現地の人との交流を通じて印象に残ったこと等）について、詳しく書くこと（400字以上）

研修先では、**Lincoln hall** という寮に滞在しました。この寮には明海大学の他に、大阪大学や他の大学の学生が滞在しており、学生同士で交流の輪を広げることができました。地下には洗濯機と電子レンジがあり、食事はスーパーマーケットで買ってきたものを温めて食べたり、外食に行ったりしていました。特に印象に残っていることは、スーパーマーケットや飲食店での現地の店員さんとの会話です。初めは英語で話すスピードに慣れることができず、聞き取ることがあまりできませんでした。しかし、研修を始めて3日経った頃から積極的に店員さんに分からないことを質問し、会話を聞き取ることができるようになりました。ハワイで暮らす人々は皆気さくで、聞き返すと丁寧に答えてくれました。他にも笑顔で挨拶をしてくれたり、温厚なハワイの人々の雰囲気を感じ、とても快適に3週間を過ごすことができたと思っています。この研修は私にとって初めての海外だったので、初めは緊張していたのですが、ハワイでの生活を楽しむことができました。

3 研修を振り返って

(1) 海外研修を通じて成長したこと、感じたこと、得たことを研修前の意識と比べて書くこと (400 字以上)

私は研修参加前に達成すべき目標を 2 つ立てていました。1 つ目は英語力を向上させること、2 つ目は現地の学生との交流を通して教養を身につけることです。今回の海外研修に参加させていただき、これらの目標を達成することができ、自分自身を成長させることができたと思っています。まず、1 つ目の英語力は授業や学生とのコミュニケーションを通じて養うことができました。全ての授業はオールイングリッシュで行われ、休憩時間も英語を話すことが求められました。また、日常生活を送る上でも英語を話し、周りから聞こえてくる言語も英語だったので、初日に比べ 3 週間後には自分の英語力の向上を実感することができました。特に interchange では約 1 時間、ハワイ大学の学生と話すことができたので、とても良い経験になりました。2 つ目の教養を身につけることは、現地の学生とのコミュニケーションを通して養うことができました。私の研究テーマはプラスチックゴミ問題だったのですが、現地の学生にそれに関する質問をすると、自分の専攻に関わらず全ての学生が意見を述べてくれました。そこで学生の環境に対する意識の強さや深い教養を持っていることを知ることができ、とても刺激を受けました。自分で環境問題について調査し、様々な意見を聞くことで以前より教養を身につけることができたと思っています。

(2) (1) を今後の学生生活や将来にどう活かしていきたいか、詳しく書くこと (400 字以上)

私は今回の研修で得た経験や知識を、今後の学生生活や将来に活かしていきたいと思います。まず、学生生活です。私は 4 年生なので、大学で学ぶことができる期間はあと半年しかありません。そこで、今回の経験を卒業研究やプレゼンテーションの授業で活かしていきたいと思います。特に卒業研究では、今回の学びを多く反映させることができるのではないかと思います。ハワイの人々の環境に対する意識を直で感じ、私の意識にも変化がありました。私の卒業研究のテーマは、気候変動についてなので、そこで感じた意識などを入れ込みながら、視野を広く持ち深い考察ができるといいなと思います。次に将来についてです。私は 4 月から社会に出て、社会人として働き始めます。そこでは、研修で学んだ英語を活かし様々な方をサポートしていきたいと思っています。また、身につけた教養をさらに発展させ、自分の知識を深められるよう視野を広く持ち様々な分野に興味関心を持って生活を送っていききたいと思っています。

以上

海外研修成果報告書

研修先国および研修機関等： JTB シンガポール支店他（シンガポール）

研修期間： 2023年2月19日（日）～ 2023年2月25日（土）

1 派遣先で学習した内容（授業内容や視察内容）について、詳しく書くこと（400字以上）

JTB シンガポール支店では、お客様の旅行をセッティングするだけでなく、コーポレート事業や BTM 事業、レジャー事業等様々な事業を行っていることを学びました。フードバンクでは、貧富の差が大きいシンガポールでは、貧しい人たちに少しでも食品を届けるために、匿名で人から食品を預かり、きちんとチェックした上で貧しい人たちに食品を届けるというサービスをしており、食の流れをこのようなシステムでつくって勉強になりました。アルビレックス新潟シンガポールでは、スポンサーのつき方を学びました。また、シンガポールは多民族が暮らしており、各宗教に合わせた祝日があることを学びました。例：キリスト教の祝日、イスラム教の祝日等。GRAB 本社では、タクシー事業から配達、投資まで様々な事業を手掛けていることを学びました。力を入れているタクシー事業では、タクシーの運転手は始業時にカメラで写真を撮り、本人かどうかのチェックがあることを知りました。また、乗り終わった後には、レビューが作成できるようになっており、あまりにも評価が低いと運転手としての仕事ができなくなると知り、顧客のことをしっかり思っていると感じました。ニューウォーターセンターでは、シンガポールの「水」の歴史について学びました。水をきれいにする工場があり、水を浄水する段階があり、それをクリアしてから私たちの元に届けられていることを知りました。今では水道水も飲めることを学びました。

2 派遣先での生活（滞在形態、海外での生活や現地の人との交流を通じて印象に残ったこと等）について、詳しく書くこと（400字以上）

滞在していたホテルでは、毎朝ビュッフェで一日の始まりが最高でした。部屋では、シャワーのお湯が急に水になること以外は快適に過ごせました。シンガポールは、夜景がとてもきれいで最終日の夜、マーライオン公園に行ったのですが、観光客でとてもにぎわっていました。フルーツジュースを片手にマーライオンとマリーナベイサンズと夜景を観て黄昏ていました。いろいろな有名なショッピングセンターに行ったのですが、現地の人はとても優しく、質問には丁寧に答えてくれました。初日の夜に有名なアラブ街に行って食事をしようと思ったのですが、レストランが多く、選べなかった私たちに「このお店はベジタリアンレストランで隣はチキンのお店だよ」と現地の人が教えてくれました。お店のおすすめメニューも教えてくださり、無事に食事をする事が出来ました。シンガポールに来るのは初めてで「ぼったくられたりしないかな」とか「言いたいこときちんと伝わるかな」と不安が大きかったのですが、本当に皆さん優しくて、不安だと感じる暇なくあっという間に1週間が過ぎました。

3 研修を振り返って

(1) 海外研修を通じて成長したこと、感じたこと、得たことを研修前の意識と比べて書くこと (400 字以上)

シンガポールに行く前は、「ビジネスがしやすい国」と言われているのだから、裕福な国だと勝手に想像していました。しかし、研修を通して、給料は日本とそんなに変わらない、貧富の差はまだあることを知りました。フードバンクという企業は食料を分ける余裕がある人から食品を預かり、十分に食料が届いていない人たちに届けるサービスを行っており、貧しい人たちを見て見ぬふりをしない企業があることにとっても感銘を受けました。また、企業に訪れた際、「シンガポールの人は日本人に比べたら冷たく感じるかもしれない」とおっしゃっていて、私も実際シンガポールに行く前は、不安がとても大きかったのですが、シンガポールで出会った方たち本当にいい人ばかりでした。タクシーに乗った時、運転手が全然しゃべらなくて怒っているのかと思っていましたが、タクシーを降りる時、「Thank you very much ありがとう」とカタコトの日本語で言ってくださり、とても嬉しい気持ちになりました。ショッピングをしているときも、「サイズはこれだと思う、試着したかったら自由に試着室使ってね」と話しかけてくださり、ショッピングも楽しむことが出来ました。自分で思っているだけじゃわからないこともあり、自分で話しかけてこそ、その人の良さが分かって学びました。

(2) (1) を今後の学生生活や将来にどう活かしていきたいか、詳しく書くこと (400 字以上)

今まで、困っているか分からない人を見ると、「困っているのかな？そうじゃないのかな、話しかけたら迷惑かな」といろいろ考えてしまい、結局声をかけられなかったことが多くありました。自分だったら、困ってたら話しかけてもらいたいし、話しかけたいと思うので、まず心で思うだけでなく行動に移そうと思いました。困ってそうな人がいたらまず話しかけて、困っていたら解決策と一緒に考え、困ってなかったら勇気を振り絞った自分を褒めようと思います。また、その人が今どう思っているのか、「怒っているのか、悲しんでいるのか、困っているのか」自分の思い込みだけで決めつけるのではなく、その人と実際に話してから決めようと思いました。話しかけてみないとその人のことは分からないので、思い込みをやめようと思います。自分から話しかければ、交友関係も広がっていくし、思い込みはデメリットしかないしシンガポール研修で刺激を受け、学ぶことが出来ました。

以上

海外研修成果報告書

研修先国および研修機関等： JTB シンガポール支店他（シンガポール）

研修期間： 2023年2月19日（日）～ 2023年2月25日（土）

1 派遣先で学習した内容（授業内容や視察内容）について、詳しく書くこと（400字以上）

最初に訪問した「JTB シンガポール支店」では、世界発、世界着の交流を実現を目標に掲げ教育事業、商事事業、出版事業、スポーツ事業と幅広く展開していることを知った。国によってのトレンドや旅行をするうえでの傾向を知ることができ、海外の方が日本に旅行しに来てもらうにはどうすれば良いのかを学んだ。次に「フードバンク」では、十分な食べ物を得られない人のための支援や問題になっている食品廃棄の減少に向けての活動をしていることを学んだ。食べ物を寄付してもらい分類ごとに仕分け、倉庫で管理し、検査をしてから食べ物を必要な人のもとへ運ぶという活動をしていると知った。実際に管理倉庫を見学させてもらい、どのような食べ物があるのかを知ることができた。次に「アルビレックス新潟シンガポール」では、プロになりたい、復帰したい選手が1年間修業し、そこからプロになることを目指していることを知った。また、サッカースクールや、ファンサービス、地域貢献、チャリティ活動などを知ることができた。主にサッカーを通じた教育事業をメインとしたスポーツビジネスを展開していると学んだ。そして、海外に出ることのメリットなどを知った。「GRAB」では、タクシー、バイク便、フードデリバリー、ネットスーパーなどの **transport** 事業であることを知り、2021年1月～6月では10億アクション2200万人使われて、利用者は上昇傾向にあることを学んだ。最後に「ニューウォーターセンター」では、シンガポールの水が再利用されていることや、どのように再利用され活用されているのかを学ぶことができた。

2 派遣先での生活（滞在形態、海外での生活や現地の人との交流を通じて印象に残ったこと等）について、詳しく書くこと（400字以上）

シンガポールは日本では東京ほどの面積であり、公共交通機関を使った移動が楽であると感じた。また、ez-link カードやクレジットカードを使って電車やバスに乗ることができ、料金も10ドルあれば1日の移動は十分であるということがわかり、日本と比べて安いと思った。電車の乗り換えも日本のように複雑ではなく簡単だった。時刻表などはないが、10分ほどの間隔で次の電車がくるため、思っていたよりも便利な印象をうけた。そして、買い物をする際に印象に残ったことは、コンビニで電話をしながらの対応であったり、他の人と話しながらの対応であり、こちらには話しかけることがあまりない接客であった。それとは逆に観光地では店員の声かけが多く、日本語で挨拶をしてくれたり明るい接客が多かったため、場所によって対応の差があると感じた。たまに中国人に間違えられることがあり、自分が働く立場であったら、たくさんの国籍の方がいるなかでの接客は難しいと思った。またスーパーに行った際の無人レジが全てキャッシュレスであったため、現金を使わなくなっているのだと改めて感じた。カフェに行った際には、お店が15時で閉まってしまうことを知り、営業時間の短さを感じた。

3 研修を振り返って

(1) 海外研修を通じて成長したこと、感じたこと、得たことを研修前の意識と比べて書くこと (400 字以上)

私が今回の研修を通して学んだことは、日本と違った価値観やいろいろな国籍の方がいるなかでの生活を学んだ。また、それを知ったことによって、それぞれの企業のターゲット先などを学んだ。JTB では、国によってのトレンドを意識したマーケティングについて学び、日本の良さをどうアピールしていくべきなのかを考えることができた。フードバンクでは食品寄付活動について学び、問題になっている食品廃棄について、どうやったら解消出来るのかを改めて考えることができた。アルビレックス新潟シンガポールでは、サッカーチームの活動内容や海外で活躍することのメリットなどを学び、価値観を広げることの大切さを考えることができた。GRAB では、国の生活に合わせた提供方法や展開の広さについて知ることができ、就活についてのお話しもきくことができたため、今後に活かしていきたいと思った。また、ニューウォーターセンターではシンガポールの水についてどのくらい再利用されているのか、日本と違ってあまり山水のないシンガポールの水の価値について考えさせられた。そして現地で生活した際に、さまざまな国籍の方がいるなかで共存していくことでの経済発展について考えさせられ、視野を広げることができた。研修前は英語が通じるのか不安であったり、自分から積極的に動くことが苦手であったが、この研修を通して自分の意思をもって行動することや話かける勇気をもつことができた。

(2) (1) を今後の学生生活や将来にどう活かしていきたいか、詳しく書くこと (400 字以上)

今後の学生生活では、英語が通じないという場面もあったため、さまざまな言語が必要であり、英語だけではなく中国語などにも力をいれて学んでいきたいと思った。また、シンガポールで働くということになった時や移住をすることについて考えることができた。そして、日本での当たり前のことは当たり前ではない、ということに改めて感じる機会となったため、まだやったことのないことへの好奇心が出た。そのため、不安や面倒だと思ったことなど、何事にも挑戦をしていきたいと考えた。また、就活に向けての価値観が広がったため、自分に合わないと思いつけることがないようにしていきたいと思った。そして、ポジティブな考え方でいるようにしていくことや、あまり細かいことにこだわりすぎないように楽しみたいと思った。将来に向けて、実際に働いている様子を見学できたことによって、人間関係の大切さやチームワークの重要性を学んだため、協調性を高めていきたいと思った。相手の悪いところよりも良いところを見つけていきたいと思った。

以上

海外研修成果報告書

研修先国および研修機関等： ハワイ大学（アメリカ）

研修期間： 2023年2月5日（日）～ 2023年2月26日（日）

1 派遣先で学習した内容（授業内容や視察内容）について、詳しく書くこと（400字以上）

到着翌日、初日は口頭インタビューのテストとキャンパスツアーだった。キャンパスは地図を見ないと迷子になるほど大きかった。

テストは1対1で先生と5～10分ほど話して、その結果でクラスが振り分けられた。

私たちの時は **Basic**、**High Basic**、**Intermediate**、**High Intermediate** の4レベルが開講・**Basic** 以外は2クラスずつだったと思う。私は **Intermediate** の 02 クラスだった。授業開始翌日まではクラス変更が可能だが、基本的に推奨されていなかったため、変えられない人もいた。授業内容は基本先生に一任されているようで、オリエンテーション時に冊子が配られるがそれ以外の内容がほとんどだった。全クラス共通して3週間の中で5回「interchange」というネイティブの学生さんと交流する機会がある。名前や出身・趣味等のほか大学の専攻や将来の展望なども聞かれて、自分のことについての話し方や相手のことの聞き方を学ぶことができた。

私のクラスは英語を使ったゲームも多く、**speaking** がメインでクラスメイトとグループでストーリーを作ったり寸劇をすることもあったため、日本の授業のような文法や長文の授業は少なく、英語を使ってコミュニケーションをとることを主に学んだ。

最終評価においては英語・授業の準備・授業への積極参加・最終課題の4観点で25%ずつなので、英語自体が得意かどうかよりも主体性が求められているカリキュラムだと感じた。

2 派遣先での生活（滞在形態、海外での生活や現地の人との交流を通じて印象に残ったこと等）について、詳しく書くこと（400字以上）

事前に調べていたため覚悟はしていたが、思っていた以上に物価が高かった。特に食べ物の値段が高く、レストランで食事すると簡単に¥5,000程してしまう。私たちはハワイ大学マノア校内にある **Lincoln Hall** という学生寮での滞在でキッチンが使えなかったため、食費を抑えるのは大変だった。学食は平日のみかつ授業後は閉まっていたため、テイクアウトやファストフード店で済ませる人が多かったように感じる。

また、ホームステイとは異なりそれほど現地の人との関わりは多くなかったように思う。大学以外で英語を話す機会は、寮のフロントの方やバスの運転手・店員さんと話すのが主だった。特にワイキキ方面の店員さんは英語が話せない日本人旅行客に慣れているようで、日本語で話してくれることも多かった。ワイキキにあるお店では日本語で案内があったり店員さんが日本人だったりして困った時にすぐ聞くことができるのはありがたいが、ホームステイと違い授業以外で英語を話す機会が他の地域と比べ少なくなってしまうことはハワイの寮滞在のデメリットだと感じた。

現地の方は優しい方が多く基本的には治安も良いが、違法な薬・信号無視の人やバイクなどを見かけることもあり、日本とは違うということを実感した。

3 研修を振り返って

(1) 海外研修を通じて成長したこと、感じたこと、得たことを研修前の意識と比べて書くこと (400 字以上)

ハワイに来て、積極性が何より大事だということを感じた。日本だと何となく周りと同じ行動をしていることが良いというところがあるが、それが真正面から覆されたように思う。ある程度個人主義的な文化について知っているつもりだったが、自分がいざその場所の中に入ってみるとそれがいかに難しいかがわかった。

人と違うことは恥ずかしいことでも悪いことでもなく、むしろ自分自身や他の人自身の個性であり、それを踏まえた上で過度に遠慮することなく付き合っていくということの大事さを感じた。また同時に、そういった場面で自分のことを話そうとしたときに、自分自身の意見が少なくうまく話せないということを感じた。英語の語彙や文法というより、意見を形成できるほどそれまで考えていなかったように思った。

英語に関しては、今まで日本にいて英語を話さなければいけない場面は少なかったもので、ハワイに来て数日間は話さずに過ごすことができない環境に置かれたことでかなり緊張したり不安になったりして気疲れしていた。しかし、そのうちに「間違えたとしても伝わるまで何回でも話そう！」という思いが生まれ積極的に英語で話しかけられるようになった。英語を話すというハードルが日本にいたときと比べ物にならないくらい下がったと思う。授業では授業中でも先生に質問したり、わからないとき英語で説明しあったりして、外出した際も店員さんにサイズ変更をお願いしたり在庫を聞いたりなど、今までなら諦めてしまっていたであろうところで積極的になれたと感じる。

(2) (1) を今後の学生生活や将来にどう活かしていきたいか、詳しく書くこと (400 字以上)

ハワイでの海外研修を踏まえて、自分自身の状況や勉強・将来に関しても人と同じようにしていくという考えではなく、自分自身がどう思うかを大事に考えていきたいと思った。人と協力したり合わせたりすることももちろん必要ではあるが、人を尊重した上で他人に左右されず考えて選択することで、主体的に物事を考え判断していくことを大事にしたいと思った。

今までは「なんとなくこれが普通だから」「みんなこうしているから」と選んできてしまった部分が多く、自分のことについて話すときも一般論や人からの見え方を重視してしまっていたと感じるが、それだけでなく自分自身の意見をしっかりと持っていくことを大事にしたいと思った。

私は現役生ではないので、大学の同期と年齢やこれまでの経験が異なるためなるべく同じ目線になることを意識しているところがあったが、自分が異なるものを持っているからこそわかるような意見を言うてみることも必要なのだと思う。将来やそれに向けた勉強に関しても、人と過度に比べることなく自分らしく進めていくことを意識していきたい。

海外研修成果報告書

研修先国および研修機関等： ハワイ大学（アメリカ）

研修期間： 2023年2月5日（日）～ 2023年2月26日（日）

1 派遣先で学習した内容（授業内容や視察内容）について、詳しく書くこと（400字以上）

今回は、主に「日常会話・スモールトークの練習」「長文読解」の2点でした。

まず最初に行ったのは、簡単な日常会話、スモールトーク（バス等の待ち時間で、初対面の人と交わす些細な会話）を覚え、ロールプレイを通して進めていくといったものでした。アメリカでは、スモールトークが当たり前で、日本にはあまりない文化だったため、驚きました。ですが、例文を学習し、クラス内で多くのロールプレイをこなす事で、日常生活で、自然とスモールトークが出来る程度に成長する事が出来ました。日常会話とスモールトークの練習は、授業の前のエクササイズで行う事が多かったため、毎日の積み重ねで、成長できたと思います。

次に、長文読解ですが、ハワイに関する英文の資料が渡され、数分で読み込み、先生からの質問に答えるといったものでした。最初は読む時間が短く、質問に答えられない場面が続いたのをよく覚えています。ですが、先生やクラスメイトにアドバイスを貰ったり、何回も繰り返すうちに、読む速度が上がり、質問にも答えられるようになりました。

また、私のクラスは毎回授業終わりに簡単な英語のゲームをしていたので、座学のインプットがメインというよりは、ひたすら実践形式のアウトプットがメインという印象でした。

2 派遣先での生活（滞在形態、海外での生活や現地の人との交流を通じて印象に残ったこと等）について、詳しく書くこと（400字以上）

私は、コミュニケーションが当たり前という文化が、とても印象に残りました。些細な事かも知れませんが、日常生活をしていると、見知らぬ人とでも、5分程度の会話をすることが当たり前になってきます。日本では顔見知りの人でも、少しの挨拶をするだけでした。ですが、ハワイでは、天気の話などから始まり、これから何をするのか、何日間ハワイにいるのか、どこに住んでいるのか等の会話を、初対面の人と常にしていた印象があります。そして、そのスモールトークから、仲良くなったり、美味しいお店を知る事が出来ました。コミュニケーションが当たり前という文化に最初は驚きましたが、振り返ると、とても素敵な文化だなと思います。自国とは違う文化・習慣で、慣れない事も多かったですが、現地の方々が積極的にコミュニケーションを図ってくれたり、自分から積極的に行動する習慣がついたので、わからなかったり、不安な事があっても、周囲の人と協力し合い、乗り越える事が出来たと思います。

3 研修を振り返って

(1) 海外研修を通じて成長したこと、感じたこと、得たことを研修前の意識と比べて書くこと (400 字以上)

海外研修を通じて、主に 2 点、研修前と比べ成長したと思います。

まず、1 点目は「人としての成長」です。私は、今回の研修で、自分自身の考え方が変わったと思います。具体的に述べると、「人と積極的にコミュニケーションを取るようになった」と考えています。私は、研修前では、あまり人と接する事は無く、全ての事柄を自分自身で何とかしたいという、独りよがりな考え方でした。しかし、研修期間中は、常に誰かと会話をしており、人に積極的に頼っていたと思います。研修開始直後は、1 人になる時間があまりにも少なく、このような状況にある意味嫌悪感を覚えていたかもしれません。ですが、この生活を続けるうちに、他者と共に自己研鑽をし、助け合うという事の大切さと楽しさを学ぶ事が出来ました。以上の事は、私にとってかなり変化した事であり、人として成長したなど感じました。

2 点目は「自分の英語力を客観視する事ができた」という点です。私は、テストの結果だったり、自分自身の予測でしか自分の英語力を判断する事が出来ていなかったと思います。しかし、今回の海外研修で、自分の英語力を客観的に理解する事が出来たと思います。お世辞にも良いとは言えないですが、知っている単語が聞き取れるわけでは無い・話せるわけでは無い、という事を学ぶ事ができ、今の英語力で出来る事の限界を知る事が出来ました。研修前は自分の能力を客観視する際は、試験等を利用すれば良いと考えていました。ですが、今回の研修を通じて、自分の能力の限界を客観視するには、その能力がアウトプットできる環境に身を置いてこそ、判断できると考えました。

(2) (1) を今後の学生生活や将来にどう活かしていきたいか、詳しく書くこと (400 字以上)

(1) で得る事が出来た 2 点は、今後の学生生活や将来に大きく活かせると考えています。

まず、積極性が身に着いたという点から述べていきます。私は今まで、問題に対してまずは 1 人で向き合い、出来れば 1 人で解決したいと思い行動してきました。ですが、社会人になってからはそのような考え方はあまり良いとは思っていませんでした。理由としては、社会人になったら責任は自分一人の物だけでは無かったり、自分一人ではどうしようもない問題に遭遇すると考えていたからです。なのでこのような考えは改めなければいけないながらも、なかなか行動に移せていませんでした。しかし、今回偶然にも、他者と多く関わる事で、他者を信頼する事に慣れ、心地良いと考える事が出来るようになったので、今後も積極的に他者と関わり、行動していこうと思えました。そしてこの行動力を、今後の生活の、自分一人では難しい、早期問題発見、解決に活かしていきたいと思えました。

次に、自分の能力を客観視できる方法を身につけられたという点について述べます。こちらも、今後の生活で大きく役に立つと思います。思えば、学習する事は好きでしたが、自分がどの程度まで理解しているのかを確認する作業を怠っていたのではないかと思います。ですが今回、「能力を発揮しなければいけない環境に身を置いてこそ、客観的に自分の能力を理解できる」という事がわかりました。そして、今後の学生生活での更なる難関資格、社会人としての仕事の向き合い方のそれぞれに、「自分の能力の客観視」は必要になってくると思います。社会人になってからは、ただ知識をつければ良いというだけではなく、それを活かさなければ意味がありません。そして、活かすには、自分がどれだけ出来るのかを知る必要があると思います。なので、今回の経験を活かし、自分の知識を常にアウトプットして行動し続ける事で、能力を客観視し、適切な行動を取っていききたいと思えます。

以 上

海外研修成果報告書

研修先国および研修機関等： ハワイ大学（アメリカ）

研修期間： 2022年8月23日（火）～ 2022年9月7日（水）

1 派遣先で学習した内容（授業内容や視察内容）について、詳しく書くこと（400字以上）

派遣先で学んだことは、多様性を理解することです。人種、年齢、性格など一人ひとりが違うことを学び理解していこうとする考え方を教えていただきました。初日の Kumabe 先生の授業は、16 の性格タイプを MBTI という指針を使って測り、それぞれのタイプの個性を学ぶ授業をしました。一つ一つの個性には得意なことがあって、ガティブに見える部分も見方を変えればポジティブになることを教えていただきました。自分は「広報運動家タイプ」で、その場にいる人たちを盛り上げるのが得意で、人をお願いごとをするのが不得意なタイプでした。お願いをするのが不得意ということは、逆に相手の苦労を取り除いて楽にしてあげたいという優しさからくるものだから、いい部分であると Kamabe 先生におっしゃっていただき安心しました。こういう風に自分の個性を知り、相手の個性も違うことを学ぶことで、より相手のことを思いやる結果に繋がると考えました。

また、シェラトンワイキキでは、それぞれの国の宗教観や、考え方にマッチしたサービスを提供できるようにするため、ホスピタリティルームを充実させたり、大きなマーケットである日本のお客さま志向の部屋作りをしたりと工夫が凝らしてありました。例えばお風呂がバスタブ付きであったり、日本語デスクを設置したり、LINE を利用して主に日本のお客さまの困りごとに対応したり、4階の4がつくお部屋は日本のお客さまにアサインしないようにする配慮を心がけていると言ったお話が聞けました。以上のような性格の多様性、人種や思想の多様性を理解し、うまく取り入れているハワイのホテルやホテリエはやはり一流だと感じました。私も自分の持つ個性を理解し、多様性を学ぶことで一流のホスピタリティパーソンになりたいです。

2 派遣先での生活（滞在形態、海外での生活や現地の人との交流を通じて印象に残ったこと等）について、詳しく書くこと（400字以上）

私がハワイで1番驚いたことは、あらゆるところで日本語を見たり聞いたりできたことです。ハワイにとって日本が2番目の市場であるため、多少なりとも日本人が過ごしやすい空間であるのだろうと思っていました。しかし、その予想を遥かに上回りました。お店に入って最初のうちは英語で会話をしているにもかかわらず、私たちが日本人だとわかればすぐに、日本語で会話をしようとしていただいたり、“the Bus”と呼ばれる市バスの前方の案内が日本語で書いてあったり、至る所で日本語を見たり聞いたりしたので、ちょっとした安心感もありました。しかし、ハワイ大学の講義でハワイの歴史を少し学んだ時に、日系の移民が昔多くいたことも少し関係しているのかもしれないと考えました。

もう一つ印象に残ったことは、周りの人への配慮が日本よりも高いことです。市バスを利用して気づいたことなのですが、優先席以外でも、体の不自由な方や高齢者がいたら、必ず座ってる人はその方に席を譲っていました。それが一度だけでなく毎回そうであったので、ハワイの方には当たり前のことであることを知りました。またこれは歩道を歩いている時に気づいたことなのですが、信号のない横断歩道を待っている時、必ず車が止まってくれることです。日本では信号のない横断歩道では車が止まってくれることはほとんどなく、いつも車が通らなくなるまで待っていました。しかし、ハワイの運転手は必ずこちらに気づいて止まってくれるので、すごく安全だと感じたし、優しさや配慮の深さに驚きました。世界屈指の安全性を誇る日本ですが、まだまだ日本にも足りない安全面があることに気付かされました。ハワイにはあって日本にはない配慮の違いを感じることができて勉強になりました。

3 研修を振り返って

(1) 海外研修を通じて成長したこと、感じたこと、得たことを研修前の意識と比べて書くこと (400 字以上)

成長したことは2つあります。1つ目は、英語を話すことに抵抗を感じづらくなったことです。研修に行く前までは、英語を正しい文法で、正しい発音で、とにかく正しく話すことに意識を置いていました。頭の中でこの文法はあっているだろうか、この単語はこの場合に使用するの正しいのかと悩んでから話し出すため、言葉にするのに時間が多くかかってしまうので会話がスムーズに進まないことが頻繁にありました。しかし、ハワイでの実際の会話は、正しい文法を考える時間を与えられないほど早いテンポで話すことが求められました。そのため、質よりもとにかく量を話すことに意識をシフトしました。自分の言いたいことを伝えるために、とにかく自分の知っている単語をできる限り多く羅列していくことが一番重要でした。単語のみでもいいので、なるべく多くの情報を伝えると、相手が言いたいことを汲み取りやすくなるということを学びました。

2つ目は、聞こえてくる単語からどういうことを話しているのか想像するようになったことです。少し前までは英文全部を聞き取って、その文がどういう意味なのかを理解する、というようにリスニングをしていました。しかし実際の会話はゆっくり、はっきり、2回繰り返してくれるテストのリスニングとは違い、早い速度で、曖昧な箇所のある英文を、1回のみで情報を汲み取る必要がありました。最初はとてつもないスピードで話された英語を聞き取ることに苦勞していました。しかしながら、聞き取れた単語から意味を連想するように意識を変えたところ、最初よりは意味をつかめるようになりました。こういう理解で合ってるかと確認して、違えば違うと言ってくれるし、合っていればそのまま会話が続けるので、これこそがコミュニケーションをする意義だと気づきました。

(2) (1) を今後の学生生活や将来にどう活かしていきたいか、詳しく書くこと (400 字以上)

ハワイ研修を通して、コミュニケーションとは相手に自分が伝えたいことを汲み取ってもらえるように、いかにたくさんの情報を伝えること、また相手の言いたいことを理解するためにこちらがたくさんの情報を手に入れることだと学びました。情報とは単に言語情報だけでなく、身振りや手振り、表情などの視覚情報を読み取ることも重要です。これは英語でコミュニケーションを取るときだけに限られたことではなく、全ての状況において言えることだと考えました。将来接客業に携わる身としては、今のうちにコミュニケーションの要を学ぶ事ができたことが一番の収穫です。残りの学生生活を過ごす中で、ハワイでの研修を通して学んだこのことを意識的に実践し、身につけて行きます。例えばアルバイト中にお客様からのご要望を取り逃がさないために、さまざまな情報を先に気づいたり、確認するという行動を意識してとり、卒業までに身につけます。在学中にこのコミュニケーション法を身につけることができれば、相手が本当に望むものを正しく理解することに繋がり、それが日本のホスピタリティである、おもてなしを体現することに繋がると考えました。

以上

海外研修成果報告書

研修先国および研修機関等： ハワイ大学（アメリカ）

研修期間： 2022年8月23日（火）～ 2022年9月7日（金）

1 派遣先で学習した内容（授業内容や視察内容）について、詳しく書くこと（400字以上）

授業では、ハワイの歴史と文化を学び、それらが観光地としてのハワイをどのように形作っているかを学習した。様々な文化が入り交じり、現在では「ハワイの文化」とはっきりと区別して認識することはできないが、ワイキキの街並みやあらゆる観光施設、サービスの根源にはハワイの先住民の暮らしがあった。また、視察を通してハワイらしさを意図的に演出していると気づかされた。

特に、ワイキキはハワイらしさを全面的に押し出しており、テーマパークのように統一された雰囲気があった。まず目を引かれるのは自然の豊かさであり都市の景観と溶け込んでいる点である。ホテルをはじめとする観光施設でゴッタ返している市内も、プルメリアやヤシの木が道に沿って植えられ、緑が街を覆いつくしていることで雑然とした雰囲気を感じさせなかった。また、トーチやタロイモの葉、ハワイアンキルトの文様などワイキキ全体が古来のハワイ文化を思わせる景観で統一されている点もハワイらしさであり、ハワイの魅力であると感じた。

2 派遣先での生活（滞在形態、海外での生活や現地の人との交流を通じて印象に残ったこと等）について、詳しく書くこと（400字以上）

現地の人々と交流して実感した温かさや親しみやすさが印象に残っている。滞在中、あらゆる所でアロハと笑顔で声をかけてくれる人がおり、サービスの場面においても事務的ではない温かみを感じた。それは、日本で感じるようなお客様第一の丁寧さがなく、いたって自然なコミュニケーションだからなのだと思う。フランクであり、接客であっても自分の興味や関心に従って会話をしてくれていると感じ、心地よさがあった。この親しみやすさがハワイに住む人々だからなのか、同じアメリカであれば共通なのかはさらに掘り下げていきたいところである。

こうした親しみやすさに加え、現地では多様性も強く実感した。印象的だったのは、海外にいながら日本人の方に「日本語大丈夫ですか？」と聞かれることが度々あったことである。ハワイで働いている日本人の多さにも驚かされると同時に、現地では同じ日本人であっても区別できないほど様々な人が暮らしているのだと感じた。

3 研修を振り返って

(1) 海外研修を通じて成長したこと、感じたこと、得たことを研修前の意識と比べて書くこと (400 字以上)

第一に、ハワイのイメージが変わったと感じる。以前、同じ南国の国であるフィリピンにインターンシップで訪れたことから、ハワイも観光地としてさほど変わらないであろうと考えていた。しかし、ワイキキの統一感のある雰囲気や人々の親しみやすさに触れ、帰りたくなくなると称されるハワイ独特の魅力を感じた。同じ南国であってもその国が持つ色があり、観光地としての開発の仕方も異なるのだと理解した。

成長した点としては、生まれ育った日本を外から捉えることができるようになったことである。現地では、日本での当たり前が通用せず苦勞させられる場面もあったが、過ごしてみると心地さを感じることも多かった。なぜ居心地が良いと感じるのかを考えることで、日本という国と日本人の国民性の良し悪し両面を感じ取った。また、精神的な面で研修前と比較して物怖じしない心が身についた。これも、海外に身を置くことで当たり前が覆されるような経験をしたからこそであると考え、より広い世界を知りたいと思えるようになった。

(2) (1) を今後の学生生活や将来にどう活かしていきたいか、詳しく書くこと (400 字以上)

知っている世界を広げる重要性を理解したので、残り少ない学生生活では日常の生活圏から離れ、普段はできない経験を積むことで視野を広げたいと思う。可能であれば海外に赴き、滞在することで様々な気付きを得て帰りたい。今回は団体行動が主で安心感があったが、今度は自分ひとりの力でやり繰りできるように挑戦してみたい。旅行に限らずとも、知らないジャンルにアンテナを張って情報収集をしたり、イベントや勉強会に足を運んだり自分の世界を意識的に広げるよう努めていきたい。

また、海外の文化を知った経験は社会人としての仕事に活用できると考える。私はゲーム業界に携わることが決まっており、自分の作ったものが世界中の人の目に留まる可能性がある。そのため、海外の人が遊んでも面白いと思ってもらえるようにグローバルスタンダードな視点を身に付けるべきであると考え、その一歩として今回の研修がきっかけになったと感じている。この感覚を忘れず、今後も国際的な感覚を養っていきたい。

以上